

平成27年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書
及び附属明細書並びに財産目録の承認について

事業報告

I. 全体概要

平成26年度第5回理事会で承認された平成27年度事業計画に基づき、かんしょ
にがうり・いちご・かぼちゃ・らっきょう・ラナンキュラス・スイートピー
デルフィニウム・ピーマン台木等の種苗生産・供給に取り組んだ。

種苗供給は、ラナンキュラス・ピーマン台木・かぼちゃ等が前年度実績比で増加した。
かんしょ・デルフィニウム等は前年度実績比および当初計画比で減少となった。

本年度の種苗供給事業の収益実績額は46,208千円となり、前年度実績に比べて
1,733千円減となった。又前年度実績比96%、当初計画比98%となった。

本年度の事業費実績額は62,648千円で、前年度実績に比べて1,927千円減
となった。又前年度実績比97%、当初計画対比98%となった。本年度は修繕費は
増加したが、重油価格の低下や省エネ対策による燃料費の減少、資材費の抑制・減少、
賃金の抑制・減少等があり、本年度事業費は前年度実績に比べて減少した。

本年度の経常収益実績は70,125千円となり、経常費用実績71,127千円を
差し引いた本年度の経常増減額は△1,002千円となった。

II. 業務別事業実績

1. 管理運営に関する事業

1) 総会

第53回定時総会を平成27年6月29日に、第1回臨時総会を平成28年3月16
日にそれぞれ開催し、上程した議案はすべて原案どおり承認された。

[総会の開催]

総会	開催日	場所	議案事項
第53回 定時総会	平成27年 6月29日	J Aビル 501研修室	1. 平成26年度事業実績及び収支決算(案)について 2. 理事の辞任に伴う後任者の選任(案)について(別表一)
第1回 臨時総会	平成28年 3月16日	J Aビル 501研修室	1. 平成28年度会費及び納入方法(案)について

2) 理事会

理事会を開催し総会付議事項等について審議した。上程した議案はすべて原案どおり
承認された。

[理事会の開催]

理事会	開催日	場 所	議 案 事 項
第1回 理事会	平成27年 5月26日	J Aビル 503研修室	1. 平成26年度事業実績及び収支決算(案)について 2. 理事の辞任に伴う後任者の選任(案)について(別表-1) 3. 第53回定時総会の開催(案)について
第2回 理事会	平成27年 7月17日	(決議の省略)	1. 役付理事の選定(案)について(別表-2)
第3回 理事会	平成28年 2月18日	J Aビル 503研修室	1. 平成27年度収支予算の補正(案)について 2. 平成28年度事業計画及び収支予算(案)について 3. 平成28年度会費及び納入方法(案)について 4. 平成28年度借入限度額(案)について 5. 施設整備準備金の取崩しについて 6. 種苗価格の制定(案)について 7. 平成27年度第1回臨時総会の開催(案)について

3) 企画運営委員会

企画運営委員会を理事会に先立ち開催し、理事会付議事項及び報告事項等について協議した。

[企画運営委員会の開催]

委員会	開催日	場 所	協 議 事 項
第1回企画 運営委員会	平成27年 5月20日	総合農試 第2会議室	第1回理事会付議事項(2議案)について
第2回企画 運営委員会	平成28年 2月4日	総合農試 第2会議室	第3回理事会付議事項(6議案)について

4) 優良種苗生産供給担当者会議

優良種苗生産供給事業等を効果的かつ円滑に推進するため、関係機関と連携して、花き部門と野菜部門(かんしょ部門含む)の担当者会議を開催した。

[担当者会議の開催]

部 門	開催期日	場 所	協 議 事 項
花き部門	平成27年 6月12日	総合農試 第2会議室	・花き優良種苗生産供給状況について ・ランキュラスの新增殖法等について ・スイートピー等の新品種等について
	平成27年 11月4日	総合農試 第2会議室	・平成28年度花き優良種苗供給計画について ・ランキュラスの種苗精査、球根培養について ・トルコギキョウの新品種等について
	平成28年 2月9日	総合農試 第2会議室	・優良種苗利用促進事業花き関係実績検討について

部 門	開催期日	場 所	協 議 事 項
野菜部門 (かんしょ 含む)	平成27年 7月10日	農試畑作園芸支場 会議室 (霧島酒造)	<ul style="list-style-type: none"> ・かんしょ優良種苗生産供給実績及び計画について ・かんしょ新系統等の選定選抜について ・食用加工かんしょの品種系統選定について ・焼耐用かんしょ生産供給等について
	平成27年 8月6日	総合農試 第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜優良種苗生産供給実績及び計画について ・いちご「みやざきなつはるか」等の生産供給計画について ・ピーマン台木系統等の採種供給計画について
	平成27年 11月10日	総合農試 第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜優良種苗生産供給実績及び計画について ・いちご新品種「08-5-4」苗の供給計画について ・ピーマン台木「試交8号」「試交20号」の採種実績及び計画について
	平成27年 12月21日	農試畑作園芸支場 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・かんしょ優良種苗生産供給実績及び計画について ・かんしょ品種・系統選抜試験成績及び試験設計について ・焼耐用及び食用加工かんしょの供給実績について
	平成28年 1月29日	総合農試 第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・優良種苗利用促進事業野菜関係実績検討について
	平成28年 2月8日	霧島酒造 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・焼耐用かんしょ苗の生産供給実績等について ・焼耐用かんしょの生産等について

5) 監 査

定例の棚卸監査及び帳簿監査が行われた。

監査名	期 日	協 議 事 項
棚卸監査	平成28年 4月 4日	平成27年度期末棚卸監査
帳簿監査	平成28年 4月21日	平成27年度期末帳簿監査

2. 種苗生産・供給事業

1) 園芸作物の優良種苗の生産及び安定供給

(1) 宮崎県が育成したオリジナル品種の種苗供給

県総合農業試験場で育成された野菜・花きの品種等について、宮崎県から許諾を受け、種子の採種生産及び供給を行った。

- ①かぼちゃは、「宮崎早生1号」等の供給を行った。近年は供給が減少していたが、本年度実績は943千円、計画比133%となった。
- ②にがうりは、「佐土原3号」「みやざきつやみどり」等を供給した。本年度実績は7,640千円、計画比112%となった。
- ③ピーマン台木は、「みやざき台木3号」等を供給した。本年度実績1,721千円 計画比127%となった。
- ④スイートピーは、新品種「恋式部」や「紅式部」等を供給した。本年度実績507千円、計画比125%となった。
- ⑤デルフィニウムは、生産者の減少による供給減から、本年度実績は1,153千円となり計画比72%と大幅に減収した。
- ⑥キクは、供給(更新)本数が大幅に減少し、本年度実績25千円、計画比13%と大幅に減収した。

(2) 栄養繁殖作物のウイルスフリー苗の供給

かんしょ、いちご、らっきょう、ランタナキュラスのウイルスフリー苗の生産供給を行った。

- ①かんしょは、「宮崎紅」「コガネセンガン」等7品種の苗供給を行った。
本年度実績(合計)は19,083千円となり、計画に比べて90%と減少した。
「宮崎紅」は本年度実績7,786千円、計画比96%となった。
「コガネセンガン」は本年度実績9,975千円、計画比89%と減少した。
「べにはるか」は本年度実績494千円、計画比286%と増大した。
- ②いちごは、「さがほのか」の苗供給を行った。本年度実績2,902千円、計画比96%となった。
- ③らっきょうは、「らくだ」の種球を供給している。近年供給減が続いていたが、本年度実績2,544千円、計画比105%とやや増収した。
- ④ランタナキュラスは、県オリジナル「ガーネット」「ラズベリル」「ローズクォーツ」等26品種を培養苗で供給した。本年度実績が2,030千円となり、計画比85%となった。

(3) 優良種苗利用促進事業

優良種苗の安定生産供給技術の開発及び確立試験等を行った。

- ①いちご「みやざきなつはるか」の苗増殖技術確立と検定による無病増殖技術の確立
 - ・「みやざきなつはるか」苗増殖倍率実績は、157倍(親株から3回増殖)。
 - また、「さがほのか」に比べ脇芽数が多く芽かぎ作業が必要。
 - ・「みやざきなつはるか」苗の防除及び肥培管理技術実績(5月～3月)をまとめた。
 - ・炭疽病(2回)と黄萎病の検定を実施、炭疽病菌及び黄萎病菌は検出しなかった。
- ②かんしょ苗の安定生産供給技術の確立
 - ・「宮崎紅」系統0-61はL、M、S規格が多く、収量・品質とも良かった。
 - ・「コガネセンガン」系統66-3は2L・L・Mが多く多収で品質とも優れる。
 - ・「ムラサキマサリ」のウイルスフリー系統NO6は3Lが多く最も多収である。
- ③ランタナキュラスウイルスフリー球根の安定生産技術の確立
 - ・隔離ベットと地床で球根養成して、球根の品質・収量等を検討。平成27年定植区は、28年5月養成球根掘り上げ調査。平成26年秋定植区は、27年5月に掘り上げ継続調査している。中間結果をまとめた。
 - ・総合農試開発の新苗生産技術を「ラズベリル」等6品種を用いて継続検討している。かぎ芽増殖用球根の規格は、M球以上のものが良い苗となった。
- ④デルフィニウム採種及び種子貯蔵技術の開発
 - ・種子系LPは、培養LPに比べて採種率が高いことが分かった。次年度からは種子系LPを使った採種を予定する。
 - ・「レグルス」「ベガ」種子の自然乾燥・5℃貯蔵は、15℃貯蔵より発芽率が高かった。
- ⑤ダリアウイルスフリー苗の安定生産技術の確立
 - ・白色中輪系品種等2品種の茎頂培養30日後及び50日後の生育状況を確認した。また、効率の良い培養苗増殖方法を継続検討している。
 - ・組織培養苗の親株分枝からの採穂を挿し芽する良質な苗生産技術を継続検討している。挿し芽時期と苗の品質についても検討している。

⑥ 優良系統・品種の保存管理

野菜 2 品目 5 品種・系統、いも類 1 品目 11 品種・系統、花き 5 品目 24 品種
系統の優良親株の保存管理を行った。

[優良親株の保存]

作 目	品 目	品 種	導入先	導入年次	保存形態
野 菜	いちご	とよのか	宮崎市	平成 5 年	フラスコ苗
		08-5-4	県総合農試	平成 28 年	鉢苗
		みやざきなつはるか	県総合農試	平成 25 年	フラスコ苗
	らっきょう	らくだ	県総合農試	平成 2 年	フラスコ苗
		らくだ	都城市	平成 5 年	フラスコ苗
いも類	かんしょ	宮崎紅	串間市	平成 7 年	フラスコ苗
		宮崎紅A-3	県総合農試	平成 18 年	フラスコ苗
		宮崎紅0-61	県総合農試	平成 24 年	フラスコ苗
		ことぶき	宮崎市	平成 8 年	フラスコ苗
		べにはるか	県総合農試	平成 24 年	フラスコ苗
		コガネセンガン	県総合農試	平成 24 年	フラスコ苗
		アヤムラサキ	県総合農試	平成 24 年	フラスコ苗
		ジョイホホワイト	県総合農試	平成 24 年	フラスコ苗
		ムラサキマサリ	県総合農試	平成 25 年	フラスコ苗
		コガネマサリ	県総合農試	平成 26 年	フラスコ苗
		タマアカネ	県総合農試	平成 27 年	フラスコ苗
花 き	キク	神馬66-4	県総合農試	平成 21 年	選抜親株
	スターチス	スターライトパープル	県総合農試	平成 7 年	フラスコ苗
		スターライトローズ	経済連	平成 7 年	フラスコ苗
	デルフィニウム	GN89(シリウス親)	県総合農試	平成 18 年	フラスコ苗
		LP93	県総合農試	平成 20 年	フラスコ苗
	ランキユラス	ガーネット	県総合農試	平成 18 年	フラスコ苗
		ラズベリル	県総合農試	平成 19 年	フラスコ苗
		ローズクオーツ	県総合農試	平成 21 年	フラスコ苗
		ランキユラス 4 品種	県総合農試	平成 22 年	フラスコ苗
		民間育成 5 品種	綾町	平成 27 年	フラスコ苗
		民間育成 4 品種	綾町	平成 28 年	フラスコ苗
	スプレーカーネーション	ローロ	綾町	平成 19 年	親株
		ローロレット	県総合農試	平成 19 年	親株
		ローロピンク	県総合農試	平成 19 年	親株

2) 野菜苗の受託育苗

8 月～10 月に野菜苗（ピーマン、ナス、キュウリ）育苗をジェイエイ・アグリシード(株)から受託して行ない、ハウス施設の有効活用等を図った。野菜苗育苗の受託収入は、本年度実績が 7,035 千円となり、前年度実績比 110%となった。

品 目	数 量
なす苗(佐土原ナス含む)	23,600本
きゅうり苗	57,288本
ピーマン苗	57,423本
合計	138,311本

(別表－ 1)

理事の辞任に伴う後任者の選任

辞任理事 (平成26年6月定時総会～平成27年6月定時総会まで)		新任理事 (平成27年6月定時総会～平成28年6月定時総会まで)	
氏 名	勤務先役職名	氏 名	勤務先役職名
緒方 文彦	前宮崎県農政水産部長	郡司 行敏	宮崎県農政水産部長
井上 裕一	前宮崎県総合農業試験場長	山内 年	宮崎県総合農業試験場長
大坪 立芳	西都市監査事務局長	大河内 敏雄	西都市農政課長

(別表－ 2)

役付理事の選定

役 職	理 事 (平成27年7月17日～平成28年6月定時総会まで)	
	氏 名	勤務先役職名
副会長理事	郡司 行敏	宮崎県農政水産部長